

みどりのこころ

2023
秋号
No.67

発行 長野県環境保全研究所
令和5年(2023年)9月20日

編集 長野県環境保全研究所 自然環境部(飯綱庁舎)
〒381-0075 長野市北郷 2054-120
TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929
E-mail:kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

各種山菜を採るための山焼き (2002年4月28日、山形県小国町で)

信州のクロボク土の不思議

環境が激変した時期として、約 1.5 万年前の寒冷期から 1 万年前以降の温暖期への 5 千年間がある。この間、生物は各自の生態的地位(ニッチ)に適合すべく移動し、生態系の再編があった。日本列島での人類は、旧石器人から縄文人に代わった。すなわち、旧石器人は変わる環境にニッチを保守したことで縄文人になったと考える。ヒトのニッチは森の樹上生活のサルと分かれた時から、二足歩行に適した草原である。以来、地球上の人類は環境の変化で変わる草原を求めて移動した。そうした移動は大陸では容易であった。他方、寒冷期に日本列島に渡来した旧石器人は、その後の温暖化による海面の上昇で大陸から切り離され、退路を断たれた。そんな列島にあって森林化で縮小する草原を求めての移動は困難を極めた。しかし、古代人は山火事が草原を作ることを知っていたので、火を使って必要な場所の森を草原に変えた。それにより定住が始まり、縄文文化が誕生したと考える。

以来、山焼きによる草原づくりが縄文文化の基層となって、1 万年も続き、縄文時代を画した。長期間の山

焼きによる炭の粉(微粒炭)は、風成塵と共に堆積し、黒色の腐植を保持してクロボク土を形成した。クロボク土は縄文遺跡の密度が高い北海道南部や新潟県を含めた東北地方の段丘・丘陵上などでの発達が良好である。

信州のクロボク土に関しては故郷の上田周辺では、低地や丘陵地にはほとんど見当たらない。浅間山や八ヶ岳山麓、あるいは菅平などの高所で見られる。一昨年、佐久市香坂山遺跡の旧石器の発掘現場(標高 1,130 m)を訪れた。褐色のローム層などが日本最古の旧石器を厚く埋積していたが、その最上部には黒々と発達(約 60cm)するクロボク土があった。山奥での予期せぬ黒土との遭遇に戸惑った。信州のクロボク土はなぜ高所に分布するのか?ここまでの一連のキーワード「旧石器人、ニッチ、山焼き、草原、縄文人、クロボク土」は信州の「高所」にどのように関わっているだろうか。

文・写真 山野井 徹 やまのいとおる
山形大学名誉教授

Contents

【巻頭言】信州のクロボク土の不思議(山野井徹/山形大学名誉教授) …	1
【特集】信州の黒ボク土を生成した人間活動は何か ……	2
長野県の農業土壌としての黒ボク土(諸人誌/長野県農業試験場) …	3
浅間山南麓の黒ボク土大地の歴史(芹沢一路/浅間縄文ミュージアム) …	4
希少種と黒ボク土 ……	5
【こんなことやってるよ】長野日大の中学生が環境保全に挑戦中! …	6

【Report】山と自然のサイエンスカフェ@信州 ……	7
自然ふれあい講座「セミのぬげがらを探せ!2023」…	8
施設公開・親子環境講座・スタッフ紹介 ……	9
【適応センター通信】国民参加による気候変動情報収集・分析事業 ……	10
【お知らせ】イベント案内 ……	12